

ひびきのそらん

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひびきのそらん		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和6年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和6年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月10日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一軒家でアットホームな環境。事業所での時間割は決めてないので自分のペースで療育出来る	一軒家なので活動によって部屋を変え落ち着いて過ごせるようにしている	スタッフも一緒に遊びに参加しルールを伝えながらも楽しんで遊べる環境にしている
2	自分の好きな遊びを通して療育をしている	したい事に挑戦できる環境にしている。褒め、また一緒にどうしたら上手くいくか反省会をすることで次に繋げられるようにしている	子ども達のしたい事を言える環境・挑戦できるよう準備をして好きなことで楽しんで療育出来るようにしている
3	社会学習の一環として外に出かけ社会のルールを学ぶ環境を作っている	楽しむときは楽しみ、声の大きさ・社会との関わり方を学べるようにしている	色んな経験を通して楽しんで学べるよう外や室内など遊ぶ所も変えている
	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一軒家なので階段があり転倒や落下の危険がある	一軒家ということで階段を使う場面がどうしても出てくる	階段の上り下りの注意点をしっかりと伝え、スタッフが見守り・援助をした上で利用する
2	住宅街にあるので送迎の際降車の安全面	住宅街にあるので車が通ることが多々ある。	スタッフが声掛けをして、子ども達が飛び出さないようにし、日々勝手に開けないようチャイルドロックをする
3	一つ一つの部屋は広くないので動く遊びの時の安全性	部屋の環境を落ち着く部屋・動く部屋と分けていく 動く部屋は環境を整える	部屋で走らないよう指導をする 動く遊びの時は危険がないかスタッフが確認をしたうえで行う